



2021年7月1日発行
 公益財団法人とちぎYMCA
 〒320-0041
 宇都宮市松原 2-7-42
 Tel 028-624-2546
 Fax 028-624-2489
 www.tochigiymca.org
 発行人 / 塩澤 達俊
 編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News

7

とちぎYMCA イングリッシュ講師に聞いてみた!

『違う文化に触れる子どもたちへ』

今、皆さん（英語講師）と関わることで違った文化に触れている子どもたちがいます。
 その子どもたちには将来どんな風に成長してほしいですか?どんな大人になってほしいですか??

表紙の写真から:第23回学生YMCAインドスタディキャンプより
 「セントボンファスアンバム」という孤児院で暮らしている少年。

There are children who have chances to learn about different cultures from you.

What do you wish for their future? How do you hope they will grow up?

Alex: I hope that my students can grow up to appreciate the differences in people. We have many opportunities to present our personal thoughts in English class, and learn about each other through conversation. The skills we work on can be applied outside of English class too. I hope they can grow up to be individuals who understand and value the fact that you can learn something new from everyone you meet.

(アレックス: 子どもたちが多様性に感謝できるような大人になってほしいと願っています。英語のクラスではそれぞれの思いを話し合う機会がたくさんあるため、それぞれの考えを学ぶことが出来ます。レッスンで学んだことや習得したことは英語のクラス以外でも使うことが出来ます。生徒たちが「出会ったすべての人々からなにか新しいことを学べる」という価値観を持った大人へと成長してくれることを願っています。)

Charlotte: I hope that they will be curious enough to travel and visit places that are different from their home. I hope they will be inspired to spend time with people who are different to them. To learn from me is a good start but I hope they will have their own experiences and learn about the world.

(シャーロット: 子どもたちには文化の違いなどに興味をもって様々な場所を訪れるようになってほしいと思います。自分たちと違う価値観や、背景を持った様々な人たちとの時間を大切に、良い影響を受けてほしいと思います。私から学ぶことはただのスタートで、子どもたちが、これから自分自身で世界の多様性について経験し、学ぶことを願っています。)

Henry: I wish for them to take any good opportunity that comes their way to learn about different things so they can grow with many different experiences. My hope for them is that proactively seek out their futures, so they can be leaders of their communities.

(ヘンリー: 生徒の皆さんには、多様性を学ぶ機会をたくさん得て、たくさんの経験をしながら成長してほしいと思います。積極的に将来を見つめ、コミュニティーのリーダーになってほしいと願っています。)

Christina: I wish my Kids a bright and fruitful future. Diversity is something the whole world after now and I hope the children with grow up with diversified minds that will create confidence in them and they will be able to deal with things outside of their comfort zones. I trust them.

(クリスティ: 子どもたちの将来が希望に満ち溢れたものになりますように。これからは世界では多様性が尊重されます。子どもたちには多様性を受け入れられる心を持ち、自分に自信を持てる大人に成長し、難しい局面でも対応できるようになってほしいと思っています。皆さんなら出来るはずです。)

Jody: I would hope that all students will learn a little bit of my culture and other cultures across the world. It could possibly help them to be more open minded and appreciative of the world in general, which would make them international citizens. It could also develop their confidence to speak English and to meet new people. That would create an extra opportunity to have friends from diverse backgrounds and so they will see the world beyond their own country's border.

(ジョディ: 私の生徒たちには、私の文化をはじめ世界の様々な文化を学んで欲しいと思っています。それをきっかけに、偏見を持たずに、多様性を理解し、国際人となることを願っています。また、英語を学ぶことによって、自信をもって今後たくさんの人々に出会ってほしいです。多様なバックグラウンドを持った人々との出会いは、自国の壁を越え、世界に目を向けることが出来ると思います。)

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2021年度とちぎYMCA年間聖句

(創世記 第1章 第3節)

「神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。」



さくらんぼ幼稚園便り

「 プール組み立て 」

係の保護者の皆様にお手伝いをいただき本園舎、第二園舎それぞれにプールが完成しました。貴重な休日のお時間をいただき、また暑い中ありがとうございました。余談ですが昨年は職員だけで組み立てました。当然ですが倍以上の時間がかかりました。皆様のお力に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

6月14日から年少・年中・年長組は水泳教室、ひよこ・りす・まあがれっと・ぽぴい組は水あそび開始となりました。プールが完成したら梅雨入りとなってしまいましたが、梅雨の晴れ間にはクラスごとに入水し安全に気をつけながら楽しい時間にしていきたいと思えます。

本澤 利香



ようとう保育園便り

「 毎日、すくすく、つくし組! 」

2021年度がスタートし9名のかわいい赤ちゃんとお過ごしています。保育士や園生活にも少しずつ慣れてきて、抱っこをしたり、やさしく語りかけると、目を見てにっこり微笑んでくれるようになりました。

歌がみんな大好き!! 泣いていた子も、保育士が歌い出すといつの間にか泣き止んでくれます。おもちゃのチャチャチャの歌を保育士が口ずさむと、小さな手で手作りマラカスを握ってフリフリ。腹ばいでリズムに合わせて左右に体を揺らしている姿は、とっても可愛らしいです。

ずりばいやハイハイで転がるボールを保育士と一緒に追いかけたり。フェンスや本棚につかまり立ちや伝い歩きをしながら、手足をしっかりと動かして満足そうな表情も見られるようになってきました。もう少しで寝返りができそうな子もいて、昨日はできていなかったのに今日はできるようになっていたなど、この時期は驚かされることばかりで子どもたちの成長が毎日楽しみです。月齢は様々ですが、一人ひとりの発達に合わせてながら、愛情をもって関わり、安心して過ごせるように心がけています。

これからは、蒸し暑い時期になり、たくさん汗をかくようになります。沐浴をしたり、水あそびを通して、水に親しみながら、涼しく過ごせる工夫をしていこうと思えます。

つくし組担任 鈴木 真実



とちぎYMCAイングリッシュ講師に聞いてみた!

あなたの国とあなたのこと

①皆さんの名前と出身を教えてください。

アレックス:アレックスです! アメリカテキサス州ダラス出身です。

シャーロット:私の名前はシャーロットです。ニュージーランド、オークランド出身です。

ヘンリー:カナダ出身のヘンリーです。私はバンクーバーで育ちました。

クリスティ:カメルーン出身のクリスティです。

ジョディ:ジョディです。ジャマイカのキングストン出身です。

②日本に来て何年になりますか? 日本に行きたいと思った理由を教えてください。

アレックス:日本に来て5年と少し経ちました。特に、日本のポップカルチャーにずっと興味があり、小さいころから日本に行きたいと思っていました。機会に恵まれ、自然な形で日本に来ました。

シャーロット:2019年10月に日本に来ました。タイで英語を教えていましたが、違うところで教えたいと思い、友だちが日本にいたこともあって、日本にしました。

ヘンリー:私は、日本に4年間います。文化も言葉も違うところで、独立した生活を送ってみたいと思っていました。住む前にも日本に何度も来て、食べ物や音楽、モータースポーツを楽しんでいましたので、日本を選びました。

クリスティ:私は、5年と8か月日本に住んでいます。夫とアジア学院での仕事のために来日しました。

ジョディ:2019年4月まで4年間日本に住んでい

ました。家族に会いに一度戻りましたが、日本の環境が好きでしたので、日本に戻ることにしました。日本の生徒、特に赤ちゃんたちは、楽しくて、活気に満ち溢れていました。私は英語の講師という職業に大変魅力を感じています。特に、教室でみんなが「ジョディ先生」と叫んでくれたときはとても幸せでした。生徒皆さんの成長を一つ一つ見守ることが出来る教師という職業に感謝しています。

③故郷を離れてみて、寂しく思うことはありますか?

アレックス:アメリカンスタイルのベーコン! 日本の一般的なベーコンより、少ししょっぱいです。
シャーロット:やはり、美しい海ですね。家からとても近いです。また、カフェで、コーヒーを飲みながらのランチも恋しいです。もちろん、友だちや家族にも会いたくなります。無料の高速道路もですね。

ヘンリー:日本に来てからもたくさんの友だちが来ました。やはり、カナダの友だちと家族が恋しいです。また、たくさんのアメリカの食べ物や、中華料理も恋しいです。

クリスティ:母と息子、家庭料理が恋しいです。

ジョディ:日本にいるときはクレオール語を話すことや、ジャマイカの食べ物、家族が恋しかったです。

④日本人には母の味といえばこれ! という家庭料理があります。皆さんの国の母の味は何ですか?

アレックス:母の作るラザニア

シャーロット:ラザニアかローストです。特にローストチキンとローストラムが好きです。

ヘンリー:私の家庭料理といえば泥酔鳥(ドラケンチキン)です。母がよく作ります。

クリスティ:かぼちゃの葉と練ったココヤム(Abe Nchi)という食べ物が伝統的な食べ物です。ピーナツスープにコーンフフという食べ物は日本でも作ってよく食べます。私の日本人の友だちも大好きです。

ジョディ:わたしのうちの家庭の味といえば、揚げ魚か蒸し魚をごはんと一緒に食べるジャマイカスタイルの料理です。

⑤夏がはじまろうとしています。日本は四季を楽しめる国です。皆さんはどの季節が一番好きですか? その理由は?

アレックス:どこに住んでいようと、秋が一番好きです。暑すぎず、寒すぎず、コーヒーと本でリラックスするのに、パーフェクトな季節です。アメリカはとても広いので、アメリカのどこにいても気候も全然違います。私が住んでいたアメリカ南部は日本に比べて秋と冬が少し短いです。北部はとても日本の気候に似ていると思います。

シャーロット:日本では、春が一番好きです。きれいな花が咲き、天気もとてもいいですね。ニュージーランドの季節では夏が一番好きです。夕方が長く、ビーチに行ったり、庭でのBBQなどとてもいい季節です。日本の夏は私には暑すぎるので、ニュージーランドの夏くらいがちょうどいいです。

ヘンリー:一番好きな季節は秋です。ちょうどいい気温と、紅葉が大好きです。バンクーバーの気候とても似ていますが、一年を通してもっと雨が降ります。

クリスティ:寒すぎず、暑すぎない秋が大好きです。夏の熱さはカメルーンと日本はほぼ同じですが、私の国の夏は湿度がなく、暑くて乾燥しています。

ジョディ:ジャマイカのお祭りといえば、ジャーク祭り、レゲエサムフェスト、スティング、

Jamaica Cultural Development Commission festivlas などがあり、私は特に世界中からたくさんのミュージシャンが集まり、一週間行われる、レゲエサムフェストがお気に入りです。

⑥夏といえばお祭り!皆さんの国で有名なお祭りを教えてください。

アレックス:私の家族は元々ニューオーリンズ出身で毎年、Mardi Gras (マルディグラ)をお祝いします。とても活気のあるお祭りで、中央、南アメリカで祝われるカーニバルと似ています。カラフルなコスチュームやパレード、おいしい食べ物と並び、どこを見てもエキサイティングです。

シャーロット:夏にはとても人気のあるミュージックフェスティバルがたくさんあります。ベストはPolyfestと呼ばれ、さまざまな学校やグループが太平洋の島々やアジアの国々の文化的なパフォーマンスを披露します。ニュージーランドは多文化国家なので、それらの様々な違いを表現することはとても重要です。

ヘンリー:7月1日にバンクーバーで祝うカナデーです。ダウンタウンでパレードや行事がたくさん行われます。

クリスティ:ユースディや労働者の日などの祝日はありますが、全国的な特別なお祭りはありません。

ジョディ:ジャマイカのお祭りといえば、ジャーク祭り、レゲエサムフェスト、スティング、Jamaica Cultural Development Commission festivlas などがあり、私は特に世界中からたくさんのミュージシャンが集まり、一週間行われる、レゲエサムフェストがお気に入りです。

一人ひとりに寄り添うことができるように。

リーダートレーニング

とちぎYMCAの活動を盛り上げている、ボランティアリーダーを対象とした「リーダートレーニング」を5月23日(日)、5月30日(日)の2日間に分けて実施しました。1日目はYMCAでボランティアをおこなうにあたっての必修科目である「YMCA理解」「リーダーの役割」「対象理解」「グループワークとコミュニケーション」「プログラムマネジメント」の基礎的な項目を学びました。リーダーたちは、グループディスカッションなどを通して互いに意見を共有する様子がみられました。



2日目は「災害理解と防災」「安全管理」「応急救護法」を学びました。応急救護法では、日本赤十字社看護師鈴木 保江さんをお招きして、万が一が起きた場合、速やかに的確な処置ができるよう、〈一次救護〉と〈包帯法〉を学びました。心肺蘇生やAED、野外での応急処置などを実際に体験したリーダー達。このトレーニングを通してYMCAの活動だけでなく日常生活の中で命にかかわる場面に遭遇した時にも、力を発揮できるリーダーたちであってほしいです。



2日間のリーダートレーニングでリーダーたち一人ひとりが「プログラム中、子どもたちを安全に、そして楽しく導けるようにする」という強い気持ちを持ち真剣に一つひとつのトレーニングに参加していました。

voice ~メンバーの声~ やっぱり、Y

5月30日(日)に実施した「応急救護法」のリーダートレーニングで、講師として登壇していただいた日本赤十字社看護師であられる鈴木保江様よりユースボランティアリーダーたちに向けてコメントをいただきました。

久しぶりにYMCAに行き、ボランティアリーダーと話す機会となりました。

コロナ禍での救急法でどうやって講習を展開していこうかと悩んでいる最中でしたが、担当者から救急法をしてほしいと依頼があり、YMCAの体育館に伺いました。

なんと、50名ほどのリーダーが集まっていました。リーダーは、いつも元気、そして子ども同様、目がキラキラ輝いていました。体育館の壁にグループワークをしたものがあり、つい見入ってしまいました。「そうそう、キャンプ前によくやっていたなあ。」リーダーたちが熱く語っている姿が浮かびました。「それがだいたい」準備が大切。

子どもたちが安全にすごせて、帰りにはまた来るねって言える、そんなYMCAであってほしいと思いました。

日本赤十字社 看護師
那須ワイズメン 鈴木 保江



月刊#(ハッシュタグ)



第4回 「佳」

#ポジティブ・ウェルビーイング#SDGs#Collective impact

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊

「佳」は「ふるとり」といい、尾が短くてずんぐりした「とり」のかたちを表している漢字部首だそう。ですから「木」の上に「とり」が何羽かまとまっている様子を表したものが「木」+「佳」=「集」の字で、「集まっている」ということになるのだそう。

木の上でいろいろな色のいろいろな鳥たちが集まると、おしゃべりや歌が生まれたり、けんかや助け合いも生まれたりします(と思います)。



SDGsの考え方に Collective impact (集合

的なインパクト)があります。これは、社会課題解決のために「マルチ・ステークホルダー(あらゆる関係者)」が「コレクティブ(集合的)な協働」をして成果をあげるといふ仕方です。言い換えると「いろいろな課題についてだれひとり無関係な人はいない」し、「誰ひとりこの課題の中に取り残されてはならない」し、「誰かだけが頑張ってもこの課題の解決は望めない」ので、みんなで何とかしよう!という考え方です。

せっかく力があるのにバラバラに行動すると、ひとり一人は頑張っているにもかかわらず結果的に Isolated impact (孤立したインパクト) となって社会の変化につながらず息切れしてしまいます。ですから地球規模の課題解決には SDGsが必要なんですね。

ひとり一人と社会とがいっしょに良くなる Collective impact (集合的なインパクト) では、ひとり一人の持ち寄る「1」+「1」の力がその和の「2」をはるかに超えるインパクトによってあたらしい幸福や健康さや豊かさ:《ポジティブ・ウェルビーイング》へのトランスフォーメーション(変革)が生まれるからです。

社会や世界や地域にはいろいろな「木」があります。



あなたの翼(ウイング)を少しだけ上げて、自分あまり関係のない分野で活動しているとか、自分の力など課題解決には役に立たないなどと思わないで、ぜひ!この指とまれ、この「木」にとまれ!してみませんか。

information とちぎYMCAの予定

7月の予定

- 7月11日 Yキッズ7月活動
- 7月17日 とちぎY野外クラブ7月活動
- 7月17日 あそぼまつり (トライ東)
- 7月25日 ジュニア習字教室 小学生向け習字教室 (トライ東)

8月の予定

- 8月13日~14日 レッツ!親子キャンプ! (トライ東)
- 8月18日 夏休み運動教室 (トライ東)
- 8月22日 小学生おしごと体験 (トライ東)

9月の予定

- 9月12日 Yキッズ9月活動
- 9月18日~19日 とちぎY野外クラブ9月活動



とちぎYMCAの日常をご覧ください。

instagramもはじめました!
tochigi_ymca

